

米国環境保護庁
ワシントン. D.C.20460

大気放射局

2023年4月12日

ENERGY STAR® コンピュータサーバ パートナー関係者各位

米国環境保護庁(EPA)は、ENERGY STAR コンピュータサーバ基準バージョン4.0 確定版を共有でき嬉しく思う。EPAは、本製品基準プロセスの情報源である意見とデータの提出に時間と労力を費やしてきた多くの関係者に感謝を述べたい。要件バージョン4.0は**2024年1月12日**に発効する。本レターでは、新しい要件の要点を提示し、移行プロセスを概説する。

基準バージョン4.0は、市場で最高性能のコンピュータサーバ製品を認知する。電力管理が有効になっているENERGY STAR 適合コンピュータサーバは、標準的なコンピュータよりも平均して約38%少ないエネルギーを使用する。米国で販売されるすべてのコンピュータサーバがENERGY STAR 適合である場合、コスト削減は毎年40億ドル以上に増加し、車両約800万台分の排出量に相当する740億ポンド超の温室効果ガスの排出が防止されることになる。

EPAは、基準最終草案に対して明確性の向上に焦点を当てた限定的な意見を受け取ったが、EPAは確定版においてこれに十分に対処した。具体的には、EPAは大容量ストレージサーバ、補助的処理加速装置 (APA)、高性能・低性能構成の定義を若干明確にした。APA 定義の変更に対応するため、FPGA (Field Programmable Gate Array) およびデータ処理装置 (DPU) の新しい定義を追加した。さらに、電源装置に関する脚注を修正し、サーバに使用される電源装置の値は115V/60Hzではなく230V/60Hzであることを明確にした。最後に、APAを搭載せずに販売されることがない製品を対象外とするため、対象範囲を少し変更した。

バージョン4.0移行の予定および次の行程

EPAは、消費者の期待に応えるためおよびENERGY STAR ラベルを表示した製品が発効日に新しい要件を完全に満たすために、次のENERGY STAR 基準への移行を円滑に行いたいというパートナーの要望を共有している。これを念頭に置いて、EPAは次の予定を設定した。:

- 即座に、製造事業者は各自の認証機関 (CB) に対象製品を要件バージョン4.0に適合させることを選択することが可能である。
 - CBはEPAに対し、本基準第4.1.2節で指定されている必要なSERTファイルを、最終QPXフォームの公開時にCBと共有されることになる判定のための場所へアップロードすること。
- 2023年8月30日以降、CBは提出された新製品のバージョン3.0 適合を停止するよう指示される。しかし注意すべきは、現存のバージョン3.0適合は、ENERGY STAR 適合の目的のために2024年1月12日まで引き続き有効とする。
- 2024年1月12日時点で製造されているすべてのコンピュータサーバは、ENERGY STAR マークを付けるためには要件バージョン4.0を満たすこと。すべての基準バージョン3.0 適合製品

は、ENERGY STAR の目的では無効となり、CBはバージョン4.0に適合した製品モデルのみをEPAに提出することになる。

EPA を代表して、本基準改定プロセスにおいて意見を提供して頂いたすべての関係者に感謝すると共に、各位が ENERGY STAR 適合コンピュータサーバを適合し販売する際に一緒に働けることを楽しみにしている。質問もしくは懸念に関しては、小職 Fogle.Ryan@epa.gov もしくは 202-343-9153 又は John Clinger John.Clinger@icf.com もしくは 215-967-9407 に連絡のこと。コンピュータサーバに関連するその他の質問は servers@energystar.gov に連絡のこと。ENERGY STAR プログラムへの継続的な支援に感謝する。

敬具

Ryan Fogle

ENERGY STAR ITおよびデータセンター製品、EPA マネジャー

別添資料:

ENERGY STAR 基準バージョン 4.0 確定版

ENERGY STAR 基準バージョン4.0 データ分析パッケージ